

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	株式会社ササキミート
所在地	東京都東久留米市下里五丁目12番13号
業種	卸売業、小売業
常用労働者数	17人
事業内容	食肉の卸売・小売・加工
ホームページ	http://www.ssk-meat.co.jp/
1 ニーズ調査	
①実施日	令和元年10月27日
②方法	調査票を全従業員に配布
③回収率	対象者（都内全従業員）17名のうち回収数14名 回収率 82.4%（回収数／対象者）
④調査結果概要	<p>（調査により明らかになった課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について 回収者14名のうち介護経験のある者が6名（43%）、そのうち現在も介護を行っている者が50%を占めた。 今後の従業員の介護見込みについて 介護の経験のない者及び現在は介護をしていない者全11名のうち、2名が介護する可能性が少しあると回答した。また、現在及び将来介護する可能性がある者の合計5名のうち、誰が介護を担当するかの質問に対し、自分自身と回答した者が3名（60%）、配偶者と回答した者が2名（40%）であった。 就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 制度の存在及び内容をおおよそわかると回答した者が皆無であることが判明し、制度自体があるかどうか知らない等の消極的な回答した者が全数を占め、認知状況が甚だ低いことを表す結果となった。 介護と仕事の両立に関する不安について 介護することについて、「少し不安を感じる」など何らかの不安を抱えている者は9名（63%）を占めた。不安の具体的な中身としては、公的介護保険制度の仕組みがわからない、勤務先の介護にかかわる支援制度がわからないなど、制度に関する知識が身につけていないことを露呈する結果となった。 半面、介護のことについて、職場の上司や同僚と話したり、相談したりする雰囲気があるかという質問に対して、79%に当たる11名が肯定的な回答をした。 介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 仕事の仕方を特に変えないが6名、支援制度を利用しつつできるだけ普通に働き続けるが5名という回答結果となり、従業員の大部分が、現状どおり働き続けることが望ましい意思を持っている事実が浮き彫りになった。 上記意思を支える社内制度について、1年間年次有給休暇を、希望通りとれたが5名、大体希望通りとれたが5名となり、年次有給休暇の取得については大きな問題は見られなかった。
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況	
①設置日	令和元年11月1日
②メンバー	総計 3名（うち都内勤務の従業員3名） （メンバー内訳）社長、人事労務担当者、介護と仕事の両立相談員

	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
③ 運営状況	11月1日	14:00 ~ 15:00	活動内容及びスケジュールの確認	3名
	11月8日	14:00 ~ 15:00	調査結果概要説明、取組案の提示	3名
	11月22日	14:00 ~ 15:00	取組案について意見交換、確定	3名
3 策定した取組計画（内容及び取組時期）				
令和元年12月～ 定期的な個人面談の実施(年1回程度)				
令和元年12月～ 介護と仕事の両立に関する制度の周知（掲示板による掲示、朝礼時の説明実施）				